

二二〇〇
二二
一一年年
一一
一二月月
三三五日
日
発印
行刷



第94卷 第6号 史学・地理学・考古学

論 説

- 西晋恵帝期の政治における賈后と詔……………田 中 一 輝 (1)
- 近代イギリス官僚制度改革史再考……………水 田 大 紀 (31)
- 調査委員会と官僚たちの同床異夢——
- ルール地方の煙害と森林行政 (1952～1966)……………岡 内 一 樹 (58)

書 評

- 轟木広太郎著『戦うことと裁くこと
——中世フランスの紛争・権力・真理——』……………鈴 木 道 也 (92)
- 伊藤之雄著『京都の近代と天皇——御所をめぐる伝統と
革新の都市空間 1868～1952——』……………吉 岡 拓 (98)
- 井上正也著『日中国交正常化の政治史』……………鹿 雪 瑩 (103)

紹 介

- ロビン・オズボン著 (佐藤昇訳)『ギリシアの古代
——歴史はどのように創られるか?——』……………杉 本 陽 奈 子 (110)
- 藤井讓治編『織豊期主要人物居所集成』……………林 晃 弘 (111)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

浅野長政(相田)、福島正則(福田)、片桐且元(藤田)、近衛前久(松澤)、近衛信尹(松澤)、西笑承兌(相田)、大政所(藤田)、北政所(藤田)、浅井茶々(福田)、孝藏主(藤田)の、天下人、大名、奉行人、禅僧、公家、奥の女性たちなど二十五名の人物が取り上げられている。これらの人物がいつ、どこで、何をしていたのかという基本的なデータを、この本書のページを繰るだけで容易に確認することができる。また、初歩的な誤りを犯す恐れも大いに減退することになる。かかる成果によって近世初期の事実確定の水準は大いに引き上げられるであろうことは疑いようもない。

しかし、問題点がないわけではない。例えば相国寺の僧、西笑承兌の行動に関して、本書では基本的に『鹿苑日録』から抽出されたデータを基に居所が示されている。承兌に関しては伊藤真昭氏の一連の研究があるが、参考文献を見る限り本書では参照されていないようである。そのため既に伊藤氏の「大和の寺社と西笑承兌」(『佛教史学研究』四二・二、二〇〇〇年)において指摘されており、この時期の大和の研究者には比較的よく知られた出来事である慶長

七年六月十一日の正倉院開封や寺領給与の事前調査を目的とした承兌らの大和 downward については見落とされている。この後、承兌は十五日か十六日未明に大和を出発し、上洛するが、このような短期間に往復可能な行動の中には反映されていないものもあるということには、利用の際に注意する必要がある。そして、このような本書のデータを更新しうる情報をいかにフィードバックし、学界として共有していくかが本書刊行後の最大の課題であろう。そのような場が、学術雑誌の片隅や、インターネット上に設けられることが望まれる。

(B5版 四七六頁 二〇一一年七月)

思文閣出版 税別六八〇〇円
(林晃弘 京都大学大学院文学研究科博士課程)

受贈誌

(二〇一一年五月十一日)
(二〇一一年八月一〇日)

哲學研究(京都哲學會) 五九一

東洋文化研究(学習院大学東洋文化研究所) 一三三

Historia Mexicana (El Colegio De Mexico) 二二九

学術研究—地理学・歴史学・社会科学編—
(早稲田大学教育学部) 五九

日本學士院紀要(日本學士院) 六五—三
国家學會雜誌(国家学会事務所) 一二四—

三・四

神道史研究(神道史学会) 五九—一
史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))
一一〇—四

中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研究院歴史語言研究所) 八二—一

大分県立歴史博物館 研究紀要(大分県立歴史博物館) 一二

人文地理(人文地理学会) 六三—二

經濟研究(一橋大学經濟研究所) 六二—二
日本学刊 JAPANESE STUDIES(中国社

会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇

一・一・一

日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社

会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇

一・一・二

三康文化研究所所報(三康文化研究所) 四二

日本史研究(日本史研究会) 五八五

東北大学文学研究科研究年報(東北大学大

学院文学研究科) 六〇

栃木県立文書館研究紀要(栃木県立文書

館) 一五

信濃(信濃史学会) 六三一五

国際文化研究所紀要(横浜市立大学大学院

国際文化研究科) 一七

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民

俗博物館) 一六三

日本歴史(日本歴史学会) 七五七

經濟學研究(九州大学經濟学会) 七七—四

經濟學研究(九州大学經濟学会) 七七—五

・六合併号

東北学院大学論集 歴史と文化(東北学院

大学学術研究会) 四七

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民

俗博物館) 一六四

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民

俗博物館) 一六六

臺灣師大歷史學報(國立臺灣師範大學歷史

學系) 四四

史迹と美術(史迹美術同攻会) 八—四

立命館法政論集(立命館大学法学会) 九

日本民俗学(日本民俗学会) 二六六

日本研究 国際日本文化研究センター紀要

(国際日本文化研究センター) 四三

考古学報(中国社会考古学研究所) 二

〇—二—二

九州国際大学教養研究(九州国際大学教養

学会) 一七—一・二(合併号)

九州国際大学教養研究(九州国際大学教養

学会) 一七—三

皇學館大學紀要(皇學館大學) 四九

Historia Mexicana (El Colegio De

Mexico) 二四〇

学習院大学 東洋文化研究所 所報(学習

院大学東洋文化研究所) 二〇—一年度版

同朋大学佛教文化研究所紀要(同朋大学仏

教文化研究所) 三〇

白山史学(東洋大学白山史学会) 四七

山形大学歴史・地理・人類学論集(山形大

学歴史・地理・人類学研究会) 一二

越佐研究(新潟県人文研究会) 六八

一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委

員会) 三六一—(通卷一七〇)

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))

一二〇—五

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民

俗博物館) 一六一

日本史研究(日本史研究会) 五八六

信濃(信濃史学会) 六三一六

日本歴史(日本歴史学会) 七五八

龍谷史壇(龍谷大学史学会) 一三三三

社会経済史学(社会経済史学会) 七六—四

史聚(史聚会) 四四

長野県立歴史館たより(長野県立歴史館)

六七

岩手史学研究(岩手史学会) 九二

東北文化研究室紀要(東北大学文学研究科

東北文化研究室) 五二

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民

俗博物館) 一六五

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The

Official Journal of THE ANTHROPO-

LOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一

一九—一 (Japanese Series)

国家學會雜誌(国家学会事務所) 二二四—

五・六

歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室) 四八

法学志林(法政大学法学志林協会) 一〇八

—三

法学志林(法政大学法学志林協会) 一〇八

—四

史迹と美術(史迹美術同友会) 八一五

奈良文化財研究所学報(奈良文化財研究

所) 八六

古代文化(古代学協会) 六三一—

史学研究(広島史学研究会) 二七一

立命館法学(立命館大学法学会) 三三三—五

RTSUMEIKAN LAW REVIEW (The

Ritsumeikan University Law Associa-

tion) 二八

経済科学(名古屋大学大学院経済学研究

科) 五九—一

歴史(東北史学会) 一一六

史学雑誌(史学会(東京大学文学部内))

一一〇—一六

東洋史研究(東洋史研究会) 七〇—一

大英和(大神神社社務所) 一一一

国史學(国史学会) 二〇三

国立歴史民俗博物館年報(国立歴史民俗博

物館) 六

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史

学編(京都女子大学大学院文学研究科)

一〇

日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社

会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇

一一—三

信濃(信濃史学会) 六三一—七

日本史研究(日本史研究会) 五八七

奈良文化財研究所紀要(奈良文化財研究

所) 二〇—一

平城宮発掘調査出土木簡概報(奈良文化財

研究所) 四〇

東京大学東洋文化研究所 要覧(東京大学

東洋文化研究所) 二〇—一

アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究

所) 一四—三

Historia Mexicana (El Colegio De

Mexico) 二四—一

日本歴史(日本歴史学会) 七五—九

札幌大学女子短期大学部紀要(札幌大学女

子短期大学部) 五六・五七合併号

経済研究(一橋大学経済研究所) 六一—三

東方學(東方學會) 一一—二

編集後記

史林九四巻六号をお送りします。幅広い時代・地域を取り扱った号となっております

す。御味読下さい。

編集委員には、皆様のお手元に届く前に中身を読めるとい、ささやかな「特権」があります。今号は、刊行が若干遅れたこととあつて、中身以外に、書評・紹介の対象となった書籍を幾冊か読むことができました。他時代・他分野の研究からは、つねに良質の刺激を得ていますが、今号の対象書籍読後には、時代相について久方ぶりに考えさせられました。(藤井律之)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkya.jp/index.html>

二〇一一年一月二五日印刷 定価 一、二〇〇円
二〇一一年一月二二日発行

史林 第九四巻第六号(通巻第四九〇号)

京都市左京区吉田本町京都大学文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三—二七八七

FAX (〇七五) 七五三—二五五七

振替京都〇二〇七〇二二五—五五番

理事 長 夫 馬 進

発行人 史学研究会

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCIV No. 6

November 2011

CONTENTS

Articles :

- TANAKA Kazuki, Empress Jia (賈后) and the Imperial Edict under the Emperor Hui's (惠帝) Reign of Xijin (西晋) Dynasty (1)
- MIZUTA Tomonori, Rethinking Civil Service Reform in Late 19th Century England: Different Reasons between the Inquiry Commissions and Civil Servants (31)
- OKAUCHI Kazuki, Rauchschäden im Ruhrgebiet und die Forstverwaltung (1952-1966) (58)

Book reviews :

- TODOROKI Kotaro, *Combattre et juger: conflits, pouvoirs et vérité dans la France médiévale* (SUZUKI Michiya) (92)
- ITO Yukio, *Modern Kyoto and the Emperor: Tradition and Innovation in the Urban Space Surrounding the Imperial Palace, 1868-1952* (YOSHIOKA Taku) (98)
- INOUE Masaya, *A Political History of the Sino-Japanese Normalization* (Lu Xueying) (103)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円(税込)

ISSN 0386-9369